JIS

転がり軸受－主要寸法－ 第3部：円すいころ軸受

JIS B 1512-3 : 2022

(JBIA)

令和4年4月20日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
(委員)	相 羽 繁 生	株式会社東郷製作所
	伊 藤 和 巳	KYB エンジニアリングアンドサービス株式会社
	上 坂 伸 哉	住友電工ハードメタル株式会社
	岡 田 聡	ヤマザキマザック株式会社
	菅 谷 功	株式会社ニコン
	橋 村 真 治	芝浦工業大学
	平 井 亜紀子	国立研究開発法人産業技術総合研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 23.5.20 改正：令和 4.4.20

官 報 掲 載 日：令和 4.4.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ベアリング工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3433-0926)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 是永 敦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号	2
5 寸法系列	4
6 主要寸法	6
6.1 一般	6
6.2 単列円すいころ軸受	6
6.3 複列外向き円すいころ軸受及び間座付き背面組合せ円すいころ軸受	23
6.4 外輪フランジ付き単列円すいころ軸受	31
附属書 A (参考) 本体に規定しない外輪のフランジ寸法	40
附属書 JA (参考) 円すいころ軸受の寸法系列記号	42
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	44
解 説	46

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ベアリング工業会（JBIA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 1512-3:2011** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 1512 規格群（転がり軸受—主要寸法）は、次に示す部で構成する。

JIS B 1512-1 第 1 部：ラジアル軸受

JIS B 1512-2 第 2 部：平面座スラスト軸受

JIS B 1512-3 第 3 部：円すいころ軸受

JIS B 1512-4 第 4 部：外輪フランジ付きラジアル玉軸受のフランジ寸法

JIS B 1512-5 第 5 部：単列円筒ころ軸受のつばのない側及びつば輪の面取寸法

JIS B 1512-6 第 6 部：単列アンギュラ玉軸受の外輪正面の面取寸法

転がり軸受—主要寸法—第 3 部：円すいころ軸受

Rolling bearings—Boundary dimensions—Part 3: Tapered roller bearings

序文

この規格は、2019 年に第 3 版として発行された ISO 355 を基とし、我が国の実態に即して、対応国際規格には規定していない規定項目を追加するなど、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、附属書 JA は、対応国際規格にはない事項である。また、側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書 JB に示す。

1 適用範囲

この規格は、単列、複列及び組合せ円すいころ軸受及びサブユニット（以下、軸受という。）の寸法系列及び主要寸法について規定する。さらに、外輪フランジ付き単列円すいころ軸受のフランジ寸法について規定する。

注記 1 円すいころ軸受の主要寸法は、この規格の他、JIS B 1534^[2]にも規定している。この規格は寸法系列及び主要寸法を規定し、JIS B 1534^[2]は前者の中から選んだ一般に用いる軸受の呼び番号及び主要寸法を規定している。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 355:2019, Rolling bearings — Tapered roller bearings — Boundary dimensions and series designations (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0104 転がり軸受用語

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 5593, Rolling bearings — Vocabulary

JIS B 0124 転がり軸受—量記号

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 15241, Rolling bearings — Symbols for physical quantities

JIS B 1514-1 転がり軸受—製品の幾何特性仕様（GPS）及び公差値—第 1 部：ラジアル軸受

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 492, Rolling bearings — Radial bearings — Geometrical product specifications (GPS) and tolerance values

JIS B 1514-3 転がり軸受—軸受の公差—第 3 部：面取寸法の最大値